

平成 22 年第 3 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 資源リサイクルセンターについて

初めに、資源リサイクルセンターについてであります。昨年 12 月に本工事に着手し、8 月 23 日に完成したところであります。

センターの処理設備は、粗大・不燃ごみ破碎ラインとびん・缶・ペットボトル及び紙・プラスチック製容器包装選別処理ライン等を有し、1 日当たり 16 トンの処理能力を持っております。

現在、各設備の試運転等を行っており、10 月 1 日からの供用開始を予定しております。

また、リサイクル過程を間近で見学できる通路等を整備し、リサイクルの学習の場としても活用を図ってまいりたいと考えております。

2 学童クラブの新設について

次に、学童クラブの新設についてであります。北の台小学校区におきまして、北の台学童クラブの待機児童の解消と定員超過の状況を緩和するため、賃借により、共栄町 4 丁目に、本年 11 月 1 日から新たに定員 40 名の学童クラブを開設する予定であります。

なお、本定例会において、条例の改正及び新設に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

3 市道大曲幸通線の全面開通について

次に、市道大曲幸通線についてであります。6 月から着工してまいりました第 2 期工事を終え、8 月 12 日に国道 36 号と羊ヶ丘通間約 470 メートルが全面開通したところであります。

開通により、国道 36 号の渋滞緩和が図られるとともに、道央自動車道からのアクセス及び大曲工業団地、大曲幸地区商業施設への利便性の向上が図られるものと考えております。

4 北広島熱供給株式会社の事業廃止について

次に、北広島熱供給株式会社の事業廃止についてであります。昨年の 6 月に開催された株主総会において、本年 10 月 15 日までの供給をもって事業を廃止することが決議されております。

事業廃止後の対応につきましては、UR 都市機構住宅、若葉町の市職員・教職員住宅においては、民間事業者による住棟セントラル方式により、引き続き給湯・暖房の供給が継続されるところであります。

道営住宅は、各戸に石油ストーブを設置することで対応することとし、北海道が共用灯油タンク設置などの設備改修工事を現在行っております。

事業所及び個人住宅につきましては、個別対応で了承されており、敷地内の熱供給設備の撤去等も既に完了しているところであります。

なお、社屋及び熱供給施設につきましては、会社清算期間内に撤去することで現在、協議を進めているところであります。

5 グリーンツーリズム施設について

次に、グリーンツーリズム施設についてであります。大曲に建設中でありました都市・農村交流施設「ホクレン 食と農のふれあいファーム・くるるの杜」が、8 月 6 日にグランドオープンしたところであります。

この施設は、体験農場、調理加工体験施設、農村レストラン、直売施設など、農畜産物の生産から消費まで、食と農のつながりを一体的に学習し、体験できる本市 2 カ所目のグリーンツーリズム施設となります。

この開業により、グリーンツーリズムの推進が一層図られるとともに、雇用の拡大や地域の活性化にもつながるものと期待しているところであります。

6 農作物の生育状況について

次に、農作物の生育状況についてであります。石狩農業改良普及センター発表による 8 月 15 日現在の状況は、春先から低温、多雨、日照不足から生育に遅れが生じていたものの、6 月から好天が続き、高温、多照により、生育は平年値を上回る回復が見受けられるとのことであり、ります。

8 月に入ってから高温の日が多く、平年と比較して平均気温で 1.9 度高く経過し、降水量は約 1.3 倍、日照時間はほぼ平年並みとなり、平年に比べ水稲では 8 日、小麦で 3 日早く、馬鈴薯は 2 日遅い生育となっており、おおむね順調に推移しているとのことであり、ります。

本市におきましても 8 月 23 日に市内農業関係機関合同による作況調査を実施したところであり、ります。

7 道央地域ごみ処理広域化推進協議会について

次に、道央地域ごみ処理広域化推進協議会についてであります。昨日（8 月 30 日）に協議会が開催され、新役員として南空知公衆衛生組合の長沼町長が新会長として選出されたところであり、ります。

また、協議会の方向性につきましては、今後も 1 市 4 町での広域的なごみ処理を目指すことを確認するとともに、協議会の枠組みの拡大についても検討を進めていくこととしております。

以上申し上げ、行政報告いたします。